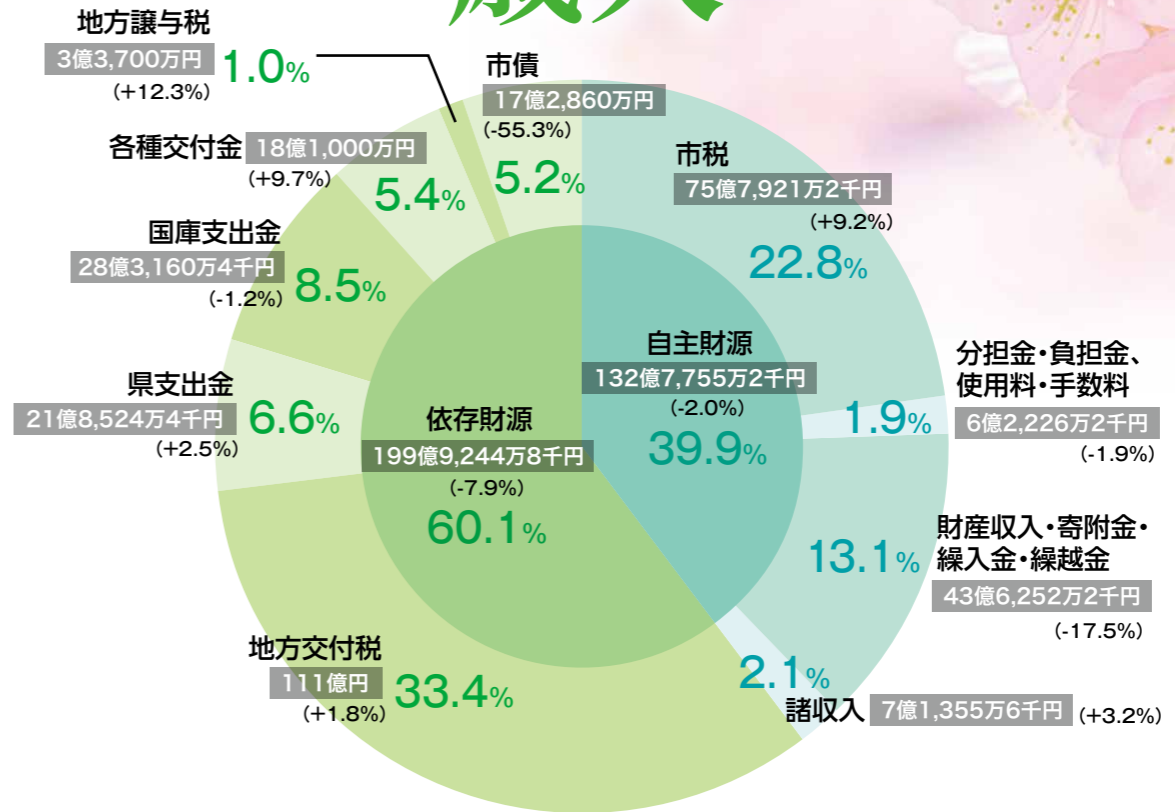


令和4年度 三豊市の予算

一般会計は
対前年度比5.7%減の
332億7,000万円

歳入



※()は前年度予算額との比較です

令和4年度当初予算は骨格予算でスタート

令和4年度当初予算は、令和4年1月の市長選に伴い、経常的経費や継続事業を中心とした骨格予算でスタートします。

一般会計予算総額は、前年度比20億円、率にして5.7%減の332億7,000万円を計上しました。

令和4年度が第2次総合計画の4年目に当たることから、同計画に掲げる「One MIYOTO」の心つながる豊かさ実感都市の現に向けて、社会的な構造変化の現に対応し、未来へ向けた投資を確実に進めるため、真に必要で緊急性の高い実現可能な事務事業について予算化しました。

新たな政策的経費や新規事業については、今後補正予算に計上し、併せて本格予算とする予定です。

【歳入】
歳入予算のうち、使い道が決め

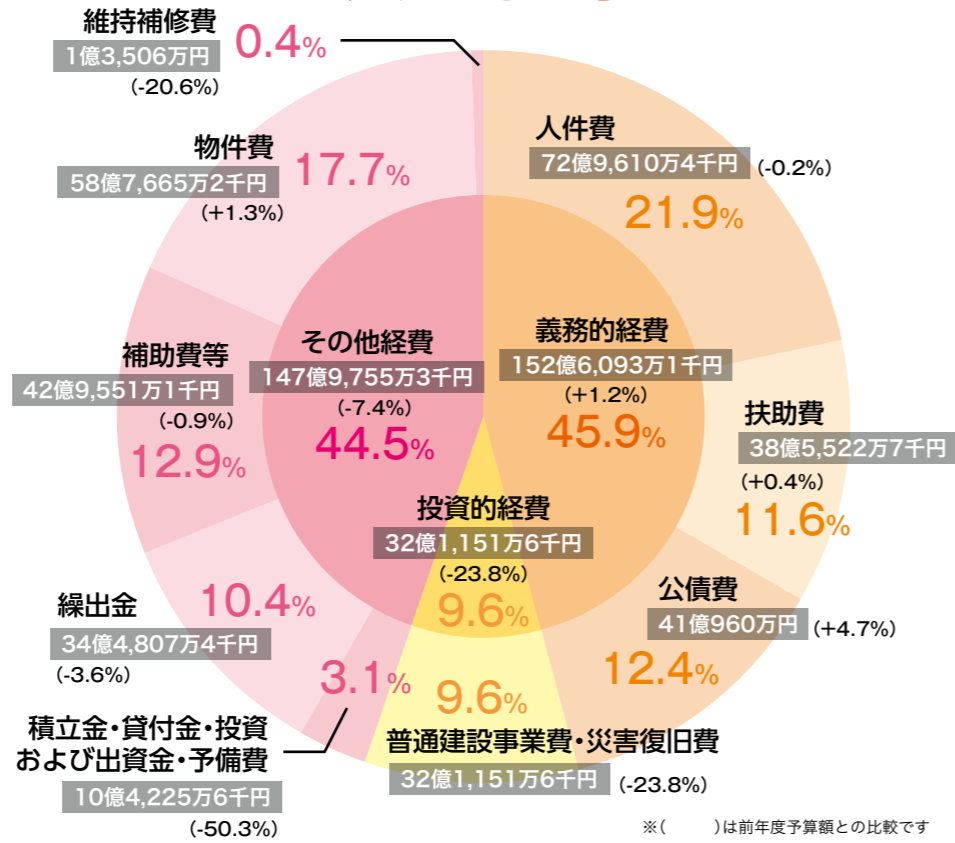
られていない一般財源として、主なものでは市税75億7,921万2千円(前年度比+9.2%)、地方交付税111億円(前年度比+1.8%)、地方譲与税・交付金21億4,700万円(前年度比+10.1%)などを計上しています。

また、寄附金については、ふるさと三豊応援寄附金(ふるさと納税)などで8億7,505万3千円(前年度比+9.4%)を計上しています。市の「貯金」である基金からの繰入金も、33億7,939万2千円(前年度比+21.7%)を計上しています。

一方、市の「借金」である市債については、宝山湖公園芝生広場の改修工事などで17億2,860万円(前年度比+55.3%)を計上し、主に合併特例債を活用した資金調達を計画しています。

【歳出】
歳出予算のうち義務的経費では、人件費は72億9,610万4千円

歳出



※()は前年度予算額との比較です

(前年度比+0.2%)、公債費は41億960万円(前年度比+4.7%)を計上しています。また、扶助費については38億5,522万7千円(前年度比+0.4%)で、公債費の増により義務的経費全体が前年度比増となっております。

投資的経費は32億1,151万6千円(前年度比+23.8%)で、道路橋りょうなどのインフラ整備のほか、消防施設の建て替え、車両の更新や宝山湖公園芝生広場の改修工事などです。

その他の経費は147億9,755万3千円(前年度比+7.4%)で、業務委託や公共施設の維持管理経費、補助金、特別会計や病院事業会計への繰出金などです。

▼問い合わせ
財政経営課 ☎73・3010

※インフラとは…道路や水道、電力など産業活動や社会生活を行うための基盤となる施設のこと

用語解説

歳入

自主財源：
市が自主的に収入できる財源(市税、使用料、財産収入など)

依存財源：
国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源(地方交付税、国庫支出金、県支出金など)

歳出

義務的経費：
その支出が義務づけられ、任意に節約ができない経費(人件費、扶助費、公債費)

投資的経費：
道路や施設などの整備に使う経費(普通建設事業費・災害復旧費)

その他経費：
上記以外の経費(物件費、補助費等、繰出金など)

特別会計

会計名	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額
国民健康保険事業特別会計	8,012,000	8,149,000
国民健康保険診療所事業特別会計	155,000	155,000
後期高齢者医療事業特別会計	1,174,000	1,101,000
介護保険事業特別会計	7,830,000	7,856,000
介護サービス事業特別会計	93,000	83,000
集落排水事業特別会計	200,000	169,000
浄化槽整備推進事業特別会計	228,000	227,000
港湾整備事業特別会計	22,000	25,000
国道用地先行取得事業特別会計	203,000	0
特別会計の計	17,917,000	17,765,000

企業会計

会計名	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額
病院事業会計 「永康病院・西香川病院」	3,374,123	5,237,423